



## 杉木立、半高床の堂 静か 木戸不動尊(鳥山 小原)

データ=アサヒペンタックス  
6×7、タクマー35<sup>mm</sup>、F4.5、絞りF8、 $\frac{1}{500}$ ・エクタク  
ルーム64

国鉄鳥山駅から約15分、県道那須黒羽-茂木線沿い、同駅から東野バスで35分、国見入り口下車。徒歩10分。



茂木町との境に近い鳥山町小原地区にある「木戸不動尊」。縁に囲まれ、ひっそりした那珂川東岸の絶壁の上だ。

木戸不動尊の周辺は杉の巨木が林立し、昼はお暗いほど、うっそうと生い茂っている。冷んやりとした空気が肌に心地よい。幽玄な極さへ感じられる。

木戸不動尊は、不動明王を祭っているもので、半高床の珍しい堂。往古大同元年（八〇六年）貴顕上人（きげんしょうにん）の開山と伝えられ、那須家の祖先那須権守貞信（なすのかみさだのぶ）以来、那須家の信仰が厚かったという、飛騨の宮大工によって再建された。堂は明治三十一年に焼失、現在のものは昭和九年に再建された。地元住民から安産、水難、火難の災難よけの霊神として崇敬されている。

新とちぎ  
アサヒ